



JR・名鉄弥富駅の整備(約46億円) 市民が知らないうちに計画が進行中

9月の弥富市議会で「総合計画の事業費」「JR・名鉄弥富駅自由通路及び橋上駅舎化事業」（以下 弥富駅整備）「学校施設の老朽化と長寿命化」「弥富市民の福祉を支える人材育成」について質問しました。特に弥富駅整備の問題点や他よりも優先して行うべき事業かどうかを中心として質問しましたが、弥富駅整備ありきの答弁しか返ってきませんでした。

市役所は、弥富駅整備を市民に直接説明し、意見を聞く責任があります。

ここが問題！

やらなければならないことが山積みなのに弥富駅整備が優先ですか

46億円は弥富市民1人あたり10万円。4人家族なら40万円！小学校を建替えても22億円、市役所新庁舎は6階建て55億円、駅整備はなぜ46億円もかかるのか？

工事の内容は鉄道会社の企業秘密 費用の大半は弥富市の借金

工事は鉄道会社にお任せ。工事単価の根拠は企業秘密として公開されません。そのうえ地元企業は下請けにも入れません。国のルールに守られて鉄道会社の負担はわずか、国の補助金を除いて、残りは弥富市の借金となります。

46億円は誰のために？ そもそも本当に必要なのですか？

弥富駅の北口ができて便利になるのはほんの一部。JR・名鉄より北に住んでいても、ほとんどの方は弥富駅の東西の踏切を利用の方が便利。自由通路を使って南北を行き来する利用者は、一日何人見込めるのでしょうか？

こんなことを 見過ごしてもいいのでしょうか？

市役所は 市民に事業の是非を問わずに進もうとしています
議会と市役所を動かすには みなさんの声が必要です

みなさんの声をお聞かせください 説明にうかがいます

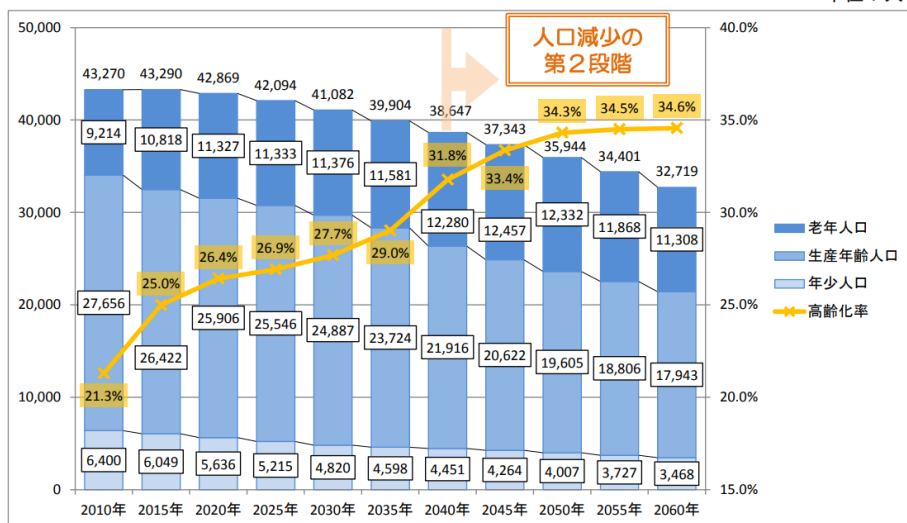
裏面に弥富市の公共事業全般の課題を解説しましたのでご覧ください
弥富駅整備問題は解説ページから→<https://satohitoshi.info/jr/>
お電話お待ちしております 佐藤仁志 090-6073-2413

QRコード



公共事業の優先順位 将来に備えて見直しを

単位：人



高齢化率は30%台に

今後40年間で
生産年齢人口は
約26,000人から
約18,000人に
約8,000人の減少



資料：国配布ツールを用いて作成

推計値は小数点以下第一位を四捨五入した値のため、年齢3区分別人口の合計と総人口は、必ずしも一致しない。

弥富市人口ビジョン 平成28年2月

- ☆ 税を負担する生産年齢人口の減少を見込む必要があります。
- ☆ 公共施設は当座の資金が無くても、借金(約30年の分割払い)で建設ができますが、返済は現在と将来の市民が背負います。
- ☆ 借金返済の能力を考えて、費用対効果を考え、優先順位をつけて、借りすぎに注意しましょう。

私たち弥富市民もコロナ禍で学校が急に休校になり、様々な生活の制限や仕事上の困難を経験し、今後も元の生活には戻れない不安の中で過ごしています。病院など医療施設、学校など教育施設、保育所、介護施設などの福祉施設等の公的施設や民間の流通業をはじめ、私たちの生活を支える施設とそこで働く人たちの大切さが再認識されたと思います。

南海トラフや水害の備えとして命を守る一時避難場所の増強を望む声が出ています。感染症対策の面から、分散して避難できる避難所の整備を加速する必要があります。

下水等や市庁舎など大型公共施設の建設が増大し、生活に密着した予算が減少傾向にあります。

過去には、いち早く小中学生の医療費無料化を行うなど、「子育て先進のまち弥富」といわれましたが今は他都市への優位性が色あせています。市民の声を議会に届けましょう。

発行人：弥富市議会議員 佐藤仁志 愛知県弥富市五之三町福島46番地

携帯電話：090-6073-2413 気軽にお電話ください

E-mail: mail@satohitoshi.info

佐藤仁志のホームページもご覧ください <https://satohitoshi.info>

QRコード

